

熊本大学大学院法曹養成研究科  
平成25年度第2期募集 法律科目試験問題

## 刑事訴訟法

平成24年10月28日(日) 10:00~12:00

### 解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚です。
3. 解答用紙には、熊本大学大学院法曹養成研究科の受験番号のみを記入し、氏名は記入しないで下さい。
4. 解答は横書きにして下さい。解答用紙の追加・交換はしません。
5. 解答にはボールペンまたは鉛筆を使用して下さい。
6. 問題の内容に関する質問には応じません。
7. 貸与した六法に書き込みをしてはいけません。
8. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰って下さい。

【問題】以下の事例を読んで、問いに答えなさい。（配点：40点）

被告人 X・Y・Z の3人は、共謀の上、交通事故を偽装した追突事故で受傷し保険金を騙取しようとして企て、Yが運転しXが同乗した自動車にZが運転する自動車を追突させて、前車の2人が外傷性頸椎症などの傷害を受けたとして入院し、A保険会社に保険金請求してその支払いを受けようとしたとして起訴された。

公判において、Xはただ所用で当該自動車に乗せてもらっただけであると主張し、Zもたまたま考え事をしていたため前方不注意で衝突したと、起訴事実を全面的に否認したのに対し、Yは3人共謀しての犯行を認めて詳細な供述をした。

他に証拠がない場合、X・Y・Zをそれぞれ詐欺罪で有罪とすることが出来るか、論じなさい。

以上